

当日の天候は曇りで早朝の最低気温は7.4度Cで発見当時同所では10度Cくらいであったと思う。因に神戸での11月の平均気温は14.7度C、12月に入ってから8.7度Cで例年よりもかなり高かった。それでも12月6日には日中の最高気温6.8度Cでかすかに粉雪が舞っている。その後11日には南風により17.7度C迄上昇したが、19日には最低気温0.4度Cを記録している。もっともこれらの数値は山手の高台にある神戸海洋気象台での測定によるものであり羽化地点は高架により北西風が遮ぎられ、南側は広い車道で日当りは良好。それに空気が汚いので暖かい日溜りなのだろう。それとこの不時羽化との因果関係は無論私には知る術もないが何かの参考にと報告させて頂く次第である。

宝塚市におけるセマダラナガシクイの採集記録

新 家 勝

本誌第9巻第1号以来、報告している宝塚大橋照明燈での蛾の採集の際、他の昆虫についても一部調査している。今回は、それらの昆虫のうちからセマダラナガシクイについて報告する。

セマダラナガシクイ *Lichenophanes carinipennis* Lewis は、体長10ミリ余、黒褐色で、前胸背には粗大な瘤起と点刻を有し、鞘翅にも粗大な点刻を有する特異な形状の甲虫である。これまで兵庫県下での採集記録は僅かであるとのことであるが、筆者は宝塚大橋における蛾の採集の際、次の通り幾度か本種を採集している。

1. 1979. 6. 1 宝塚市南口2丁目

宝塚大橋照明燈に飛来し、欄干に静止しているところを採集したもので、標本は筆者が保存している。

2. 1982. 6. 1 宝塚市南口2丁目

採集時の状況は前述1と同様であった。種を確認しただけで標本化しなかった。

3. 1982. 7. 8 宝塚市武庫川町

前述2と同様。